

2021年6月7日

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 移植腎生着死亡レシピエントの検討

[研究責任者] 腎臓移植外科 藤原拓造

[研究の背景]

腎移植長期生着の方は高齢となり、また当院では高齢の方にも積極的に腎移植を行っていますので、移植腎が生着したまま亡くなられる方は増えています。

[研究の目的]

腎移植生着死亡の危険因子を求めることが目的です。また、生着死亡死因別の臨床的な特徴を探ります。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1988年11月1日～2019年6月30日の間に当院で腎移植を行い、当科に外来通院したレシピエントの方で、小児、1年未満の廃絶された方、転院された方を除いた患者さんが対象です。306名の方が該当しました。

●研究期間

倫理審査終了後、実施許可日より2022年3月31日までの予定です。

●カルテ情報

以下の情報をカルテより収集し、腎移植後生着死亡に関係する項目を検討します。

移植時の年齢、性別、腎不全の原因疾患、移植前透析期間、ABO血液型適合性、HLAミスマッチ数、サイトメガロウイルス抗体価、ドナー年齢、ドナー性別、ドナータイプ、移植後の急性拒絶反応の発症、サイトメガロウイルス感染症、移植後1年目の(eGFR)、移植後の悪性疾患、心血管疾患の発症、生着死亡死因、死亡時年齢 等

●検体や情報の管理

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は第57回日本移植学会等で発

表予定ですが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

腎臓移植外科 藤原拓造

電話 086-294-9911 (代表)      FAX 086-294-9255 (代表)